

市民・団体懇談会結果

1 市民懇談会の開催目的，日程，参加人数

(1) 開催目的

第5次結城市総合計画策定方針の基本姿勢に掲げる「市民参画による総合計画づくり」を実現するため，概ね小学校区ごとに地区別の懇談会を開催し，市民の意見を聴取する。

(2) 開催日程，参加人数

月日	学区名	場所	参加人数
2/2(火)	結城小	市公民館	31人
2/4(木)	上山川小	上山川就業改善センター	10人
2/8(月)	城南小	南部中央コミュニティセンター	15人
2/10(水)	山川小	山川文化会館	25人
2/12(金)	結城西小	四ツ京ふれあい館	15人
2/15(月)	城西小	小田林コミュニティセンター	20人
2/17(水)	江川北小	江川地区多目的集会施設	31人
	江川南小		
2/19(金)	絹川小	絹川地区多目的集会施設	14人

2 団体懇談会の開催目的，日程，参加人数

(1) 開催目的

第5次結城市総合計画策定方針の基本姿勢に掲げる「市民参画による総合計画づくり」を実現するため，市内でまちづくり活動を行う団体等を対象に懇談会を開催し，市民の意見を聴取する。

(2) 開催日程，参加人数

月日	団体名	参加人数
1/21(木)	小中学校家庭教育学級	22人
1/26(火)	NPO 法人ゆうきまちづくり研究会	8人
2/2(火)	市内中学校生徒会	12人
2/4(木)	市内高校生徒会	21人
2/5(金)	結城看護専門学校生	39人
2/9(火)	ゆうき女性会議	8人
2/12(金)	結城市ボランティア連絡協議会	11人
2/16(火)	農業関係者	15人
2/22(月)	子育てサークル	12人
2/23(火)	結工懇話会	18人
2/25(木)	結城商工会議所	11人

3 主な意見

(1) 教育・文化について

- ・ 文化活動に関するソフト面での支援の充実
- ・ パークゴルフは人気があり、現在の場所では対応が難しくなっている
- ・ 母子家庭の増は、教育面でも問題になっている
- ・ 結城紬と歴史に予算をかけすぎているので、より効果のある分野へ予算配分が必要
- ・ 地域に住む子どもが減少し、子ども会が成立しなくなっている
- ・ 学校給食に地元の農作物をより多く使用してもらいたい
- ・ 家庭と学校と地域が連携するべき。子ども会は学校と切り離されている感じがする
- ・ 公民館の機能をより充実させた施設があるとよい
- ・ 市民の郷土愛を高めるため、伝統などを市民に知らせることが重要
- ・ 歴史資料館がない
- ・ 放課後の子どもの遊び場確保のため、自由に遊べる場所を確保するべきではないか
- ・ 学校の空き教室を一般開放できないか

(2) 健康・福祉について

- ・ 子育て支援の充実（保育所の整備、保育料の引き下げ、奨励金の給付）
- ・ 近隣と比べると子育て支援は充実している。引き続き力を入れてほしい
- ・ 市内への小児救急病院の整備
- ・ 小児医療に関する電話相談窓口を市に設置してほしい
- ・ 老人向け医療機関の整備
- ・ 独居老人世帯が増えているので、その対策が必要（見回り、地域で助け合う仕組みの構築）
- ・ 老人会の活性化が高齢者の活用や地域で助け合う仕組みづくりに重要
- ・ 巡回バスを有料にして収益の確保と利用促進を図ってはどうか。お金を払っても路線を増やしてほしい
- ・ 結婚機会を設ける施策を実施してはどうか
- ・ 外出せず、家にこもりきりの高齢者は多い。外出機会の一つとして外で高齢者が食事を出来る場所を設けてはどうか
- ・ マル福対象年齢の拡充をお願いしたい

(3) 環境・都市基盤について

- ・ 「外で稼いで結城に住む」まちづくり、住みよいまちづくりを進め、人口増を図る
- ・ 高齢者を呼ぶまちづくりを検討してはどうか
- ・ イギリスの都市計画にならい、工業団地近くに住宅地を作ると良いのではないか
- ・ 川越市のミニチュア版を目指してはどうか

- ・ 市内の駅の有効活用
- ・ 町中でどこまでインフラ整備をするのか明確にすべき
- ・ 市街化調整区域の範囲の見直し，規制の緩和
- ・ 結城駅の北側と南側を上手くつなぎ，地域交流促進を図る
- ・ 道路補修が雑なことがあるので職員は確認を
- ・ 公達地区の都市基盤整備（道路拡張等）
- ・ 事故の多い箇所へのカーブミラーの設置促進
- ・ 歩道の段差の解消
- ・ 北関東自動車道や茨城空港を活かすようなアクセス道路の整備
- ・ 区画整理地内の歩行者専用道路は，横断歩道やスロープがないので危険
- ・ 鬼怒川の河川敷が整備されてきれいになってきた。今後はふれあい広場の
ような形で整備が進むと良い
- ・ 駅北側への大型公園の整備
- ・ 城跡公園の内堀を観光資源化できないか
- ・ 駅北側の道が狭い
- ・ 駅北側の道路を拡張すると結城らしさがなくなってしまう
- ・ バスや電車の便が悪い
- ・ 公園に子どもが遊ぶ遊具がない
- ・ 歩いて市役所に安全にいけるよう歩道の整備を進めてほしい
- ・ 工業団地整備に伴うアクセス道路の整備（南部中央幹線，城の内）
- ・ 下水道の接続促進
- ・ ごみ減量化の一層の推進
- ・ 環境保全を進めるため募金を集めてはどうか
- ・ リサイクルステーションの収集品目を増やしてほしい
- ・ リサイクルしやすいようリサイクル品の一覧表のようなものがほしい
- ・ 矢畑地区整備で平地林がなくなったことにより周辺環境が悪化している
（砂埃，カラス）
- ・ 街路灯の整備
- ・ 農機具や資材の盗難が増えているので，防犯対策を実施してほしい
- ・ 消防団員の確保が課題。分団の見直しや消防団に頼らない消火体制の整備
- ・ 避難場所や市の災害対策が分からないので，周知してほしい
- ・ 水道料金が他市と比べると高く感じる

（４）産業について

- ・ 耕地整理は引き続き重要である
- ・ 農業振興と農村住環境整備を上手く連携させ，住みよい地域づくりを目指す
してほしい
- ・ 産業振興として農業の6次産業化が重要
- ・ きちんとした収入が得られるような農業施策を考えてほしい

- ・ 市独自の農作物PR策を実施していただきたい
- ・ 若者の流出を防ぐには雇用創出が必要。矢畑地区を整備していることを知らない市民も多いので知らせてほしい
- ・ 高齢者を呼ぶまちづくりを検討してはどうか。それにより高齢者関連の産業が興ることもあるのでは
- ・ 現在の工場はオートメーション化が進み、あまり雇用を生まない。企業誘致の効果の検証が必要。今後はサービス業の活性化が重要では
- ・ 街なかに元気がなくなっている。商業施策の見直しが必要
- ・ 50号線バイパスへの大型商業施設の誘致による地域の活性化
- ・ 50号バイパスに店舗は増えたが同じような店が多く、結局市外に買い物にいつてしまう
- ・ 駅北側を活性化させるより南側をより活性化させるべき
- ・ 駅前通りが南北で通り抜けられるようになれば中心市街地活性化につながるのでは
- ・ 中心市街地活性化には駐車場の整備が必要
- ・ 中心市街地の範囲を見直してはどうか
- ・ 高齢者のために歩いて買い物ができる環境の整備が重要
- ・ シャッター通りはイメージが悪い。空き店舗対策を進めるべき
- ・ 結城廃寺，山川不動尊，日本花の会を連携させた観光振興
- ・ 観光振興に寺院側もより協力してほしい
- ・ 着地型観光の振興
- ・ 観光を受け入れる側の意識改革（結城の人は保守的）
- ・ 市の歴史や文化を上手く観光に結びつける必要がある
- ・ 観光ルートは整備してあるが、そのPRが十分でない
- ・ しるくろ一どを観光拠点として活用できないか
- ・ フィルムコミッションに力をいれ、外国人観光客の誘客を図る
- ・ 結城の祭りはこれだというものがない気がする。行政と市民が一体となって継続し、伝統行事というものを作っていきたい
- ・ 茨城空港を使った国内外との交流の促進

(5) 自治・都市づくりについて

- ・ 地域に空き家が増えており、その持ち主の多くは市外の人である。その人とコミュニケーションが上手く取れない。防犯上課題である
- ・ 町内会に若い人がいないので、新しい取組を行いにくくなっている。通常の活動も参加率が低下してきている
- ・ 地域によっては高齢化が進み、限界集落のようになってくることも予想される。自治会の役員のなり手がなくなっている
- ・ 自治会の区域の整理が必要（本田と上海道，城南町など）
- ・ アパート，マンションが増え，自治会の活動が難しくなっている（草刈，防災訓練，ゴミ収集，広報紙の配布）

- ・ 隣近所との助け合いの体制の再構築が重要
- ・ 昔ながらの近所づきあいを負担に感じ、地域に戻ってこない若者も多いのでは
- ・ 協働のまちづくりには人材育成が重要。自治協力員や防犯協力員に一般住民を増やしていくことが必要。その経験により、地域のリーダーに育てる
- ・ ボランティア参加を促進するには、ボランティア参加に関する情報提供が必要
- ・ ボランティアを育てるリーダーを作る必要がある
- ・ ボランティアをやりたい人とボランティア団体をつなぐコーディネーター昨日があると良い
- ・ 事業所も市民ととらえ、行政と連携を進めていくべき
- ・ 町内会の会所を一般に貸し出すことはできないか。貸し出しを一元化して市民に利用してもらうようにできないか
- ・ 住所の表示方法の見直しが必要
- ・ どの市町村にも共通する事務は広域連携によりコスト削減、それ以外の施策は独自性を追及していくべき
- ・ タテ割りの排除。横のネットワーク化
- ・ 市役所の雰囲気が親切になってきた
- ・ 市のホームページに魅力を感じないので、見やすくする工夫を
- ・ 市の行革は進んでいるようだが、議員報酬は見直しが進んでいないので見直しを
- ・ 市全体にとって最適な場所に庁舎を移転してほしい
- ・ 職員の育成が重要。出来るだけプロを養成しなければならない
- ・ イメージ戦略は重要なので、PRを多くするべき

(6) 総合計画づくりについて

- ・ コミュニティ内の交流を促進するような総合計画にしてほしい
- ・ 市民の意見を上手く引き出し、市民中心の総合計画づくりをすべき
- ・ 絵に描いた餅にならないよう出来ないことは総合計画に盛り込まないようすべき
- ・ どれだけ市民の意見が反映されたか分かるようにしてほしい
- ・ 前期の計画を検証し、市の少子高齢化や財政の状況をしっかりと把握し、5年後、10年後を推計する必要がある
- ・ 総合計画の評価のためにも施策ごとの成果目標を設定するべき
- ・ 4次総の将来都市像はピンと来ない
- ・ 4次総は総花的で面白くなく目玉が分からない。施策の重点化が必要
- ・ 4次総の総括を行い、その結果を市民に知らせていただきたい